

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 19 年 5 月 24 日 (2007.5.24)

【公開番号】特開 2003-241126 (P2003-241126A)

【公開日】平成 15 年 8 月 27 日 (2003.8.27)

【出願番号】特願 2002-38292 (P2002-38292)

【国際特許分類】

G 0 2 B 26/10 (2006.01)

G 0 2 B 13/00 (2006.01)

G 0 2 B 13/18 (2006.01)

H 0 4 N 1/036 (2006.01)

B 4 1 J 2/44 (2006.01)

H 0 4 N 1/113 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 26/10 D

G 0 2 B 26/10 B

G 0 2 B 13/00

G 0 2 B 13/18

H 0 4 N 1/036 Z

B 4 1 J 3/00 D

H 0 4 N 1/04 1 0 4 A

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 3 月 29 日 (2007.3.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

光源手段から出射した光束の状態を他の状態に変換する第 1 の光学素子と、該第 1 の光学素子からの光束を主走査方向に長手の線像に変換する第 2 の光学素子と、該第 2 の光学素子からの光束を偏向走査する回転多面鏡と、該回転多面鏡からの偏向光束を被走査面上にスポット状に結像する走査光学素子と、を具備し、

主走査断面内において、該回転多面鏡に入射する光束は、該走査光学素子の光軸に対して斜入射しており、

副走査断面内で該回転多面鏡の偏向面と該被走査面とが略共役である走査光学装置において、

前記偏向光束のうち、前記走査光学素子の光軸上の光束の副走査断面内の波面収差が最も小さくなる位置が該被走査面より該回転多面鏡側に位置し、

且つ、該偏向光束のうち、前記走査光学素子の光軸に対して斜入射している偏向素子に入射する光束側の最軸外の光束の副走査断面内の波面収差が最も小さくなる位置が前記被走査面より前記回転多面鏡側に位置していることを特徴とする走査光学装置。